

考える 悩む 集中する ひらめく 味わう



学ぶことの喜びと揺るぎない自信を与えてくれた

女子学院中合格Aさんのお母様



みるみる勉強の楽しさに引き込まれて

学ぶことの楽しさを知り、その上で娘に合った学校にご縁があれば大成功、そんな思いでスタートした我が家の中學受験でした。負担が大き過ぎれば撤退してもかまわないと考えていましたが、親の心配をよそに、娘は未知の知識に出会えるグノーブルでの授業に目を輝かせ、みるみる勉強の楽しさに引き込まれていった様子でした。

成績の波はありながらも、大きな問題もなく6年生の秋を迎えた。9月から続く模試の結果に手応えを感じ、4年生の時から心に決めていた志望校にも手が届くかしら、とぼんやりゴールが見えてきた11月はじめのことです。

「今からでも志望校変えられるかな?」

娘から涙ながらに、これまで目指していた学校ではなく、女子学院中に挑戦したいと打ち明けられました。娘自身が自分の受験を後悔しないために考え抜いて出した結論だったようです。「後悔したくない」の一言は、本人を信じて応援するしかない、と周囲を説得するだけの圧倒的な力をもつ言葉でした。

しかし、それ自体は正しい選択だという確信はあるものの、この時期からの第一志望校変更、ましてや難易度を上げての挑戦ということで、親は大いに慌てました。娘の前では不安を顔に出さないようにしても実際は全く隠せていないかったと思います。「子どもを信じましょう」とよく言われる良き親の振る舞いからは程遠い状態だったはずです。

一方で娘は、「あなたなら大丈夫」と自分を信じて背中を押してくれる先生方からの温かいまなざしが、真っ直ぐ心に響いていたのでしょう。心から慕う先生方や競い合えるクラスメイトと共に過ごすグノの時間があつたおかげで、常に強い気持ちを保てていたようです。何より、同じ日曜特訓コースのクラスメイトの存在が大きな心の支えとなつて、2ヶ月まで全力で走り続けることができたように思います。

親として大事な気づきを得ることができました

無事合格で入試を終え、受験の感想を先生から聞かれた娘は「楽しかったです!」と、即答していました。はじまりこそ親主導ではありましたか、すぐに娘自身が舵を取り、日々の積み重ねを力と自信に変えて受験を全うできた達成感が、「楽しかった」というシンプルな言葉に集約されました。親にとっても、子どもに精一杯伴走できたこの3年間は、やはり楽しい時間でした。

受験を通じて、親の心配などおかまいなしに、軽々と難局を乗り越えていく娘の姿を何度も見つけられたように思います。子どもに良かれと親が先回りして平穏な舞台を整える必要などないのだと、これから先の子どもとの関わりを見直す上でも、親として大事な気づきを得ることができました。

娘に幅広い知識と学ぶことの喜び、そして揺るぎない自信を与えてくれたグノーブルには感謝の気持ちでいっぱいです。3年間本当にありがとうございました。

中学受験 グノーブル 2022年合格実績 9期生在籍504名

最難関中272名格 合開成中16名 桜蔭中14名
麻布中17名 女子学院中22名

武藏中 4名 磬中 2名 慶應義塾(音6/中17/海8) 31名 渋谷教育学園渋谷中 17名
駒場東邦中 13名 雙葉中 6名 早稲田(早稲田14/甲大学院2/早実3) 19名 渋谷教育学園幕張中 28名
栄光学園中 13名 フェリス女学院中 5名 筑波大学附属駒場中 6名
聖光学院中 18名 豊島岡女子学園中 25名 筑波大学附属中 16名

大学受験 グノーブル 2021年合格実績 15期生在籍734名

東大125名 国公立医+慶應80名

慶應早稲田上智870名
京都大11名、一橋大25名、東工大30名、東大外9名、他多数
慶應大372名、早稲田大334名、上智大164名

〈国公立大医〉東大(理Ⅲ)7名、東京医科歯科大(医10名)、東北大(医13名)、千葉大(医15名)、横浜市立大(医12名)、北海道大(医12名)、筑波大(医6名)他 ※計61名
〈私立大医〉慶應大(医19名)、東京慈恵医大(医23名)、順天堂大(医19名)、日本医大(医29名)、昭和大(医23名)、国際医療福祉大(医17名)他 ※計245名
合計

</div